

2020年第3四半期 国内携帯電話 / スマートフォン市場実績値を発表

Japan, 2020年11月18日 - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社 (所在地: 東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長: 竹内正人、Tel代表: 03-3556-4760) は、国内の従来型携帯電話およびスマートフォン端末の2020年第3四半期 (7~9月) の出荷台数を発表しました。

2020年第3四半期、国内市場の従来型携帯電話およびスマートフォン端末の合計出荷台数は、前年同期比6.5%減の675.1万台となりました。前年同期比で減少した主な要因としては、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響で蓄積していたとみられる市中在庫に対して一定の調整が働いたこと、第5世代通信規格 (5G) に対応した新機種が発売を前にして、iPhoneも出荷の調整が行われたと推定されることなどが挙げられます。OS別ではAndroid系では前年同期比2.8%減の370.7万台、iOSでは同10.7%減の288.0万台となりました。

本四半期をベンダー別で見ると、アップルは前年同期比でシェアを2.0ポイント減らし、42.7%でトップを維持しました。2位は92.6万台を出荷したシャープ (シェア13.7%)、3位は76.8万台出荷の富士通 (同11.4%)、4位に62.6万台出荷の京セラ (同9.3%)、5位は39.0万台出荷のソニー (同5.8%) となりました。

スマートフォンについては、2020年第3四半期の出荷台数は658.7万台 (前年同期比6.4%減) となりました。

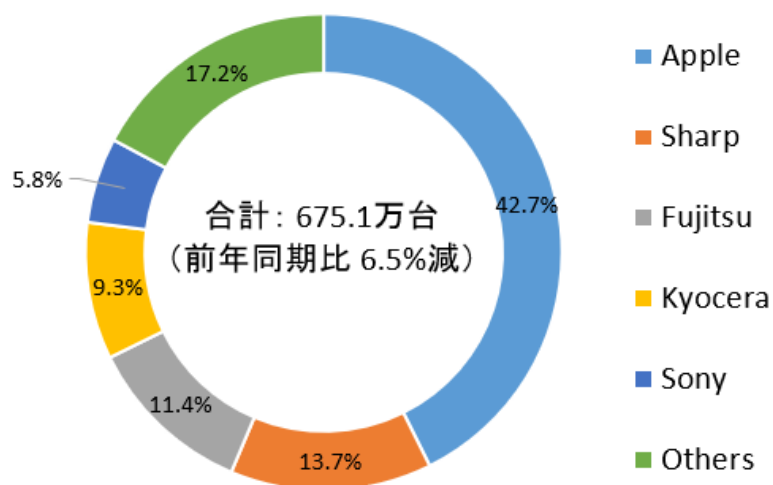
「2020年第3四半期は各種要因により前年割れの結果となったものの、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響は限定的とみられる」とIDC Japan PC, 携帯端末 & クラウドソリューションのシニアマーケットアナリストである菅原啓はコメントしています。これに続けて、「しかしながら、Android系を中心に売れ筋モデルの価格帯は下降を続けており、各ベンダーの長期的な収益性が課題となる可能性がある」と述べています。

今回の発表はIDCが発行した Worldwide Quarterly Mobile Phone Tracker 2020Q3にその詳細が報告されています。

< 参考資料 >

2020年第3四半期 国内市場携帯電話出荷台数 ベンダー別 シェア

Figure 1



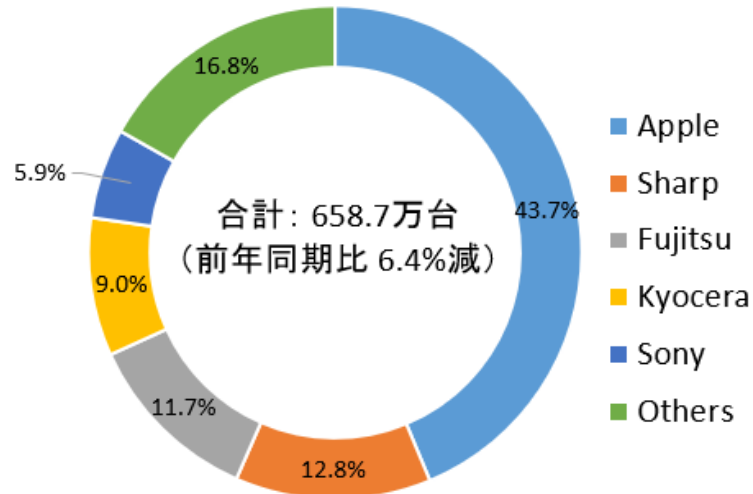
※従来型携帯電話を含みます。

※端数処理[四捨五入]の影響により合計値の末尾が一致しません。

Source: IDC Japan, 11/2020

2020年第3四半期 国内市場スマートフォン出荷台数 ベンダー別 シェア

Figure 2



※従来型携帯電話は含みません。

※OSにAndroid系を採用している折り畳み式のものもスマートフォンに含みます。

※端数処理[四捨五入]の影響により合計値の末尾が一致しません。

Source: IDC Japan, 11/020

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at www.idc.com. All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

For more information contact:

jp-Press Japan
 jp-press@idcjapan.co.jp
 +81-3-3556-4760